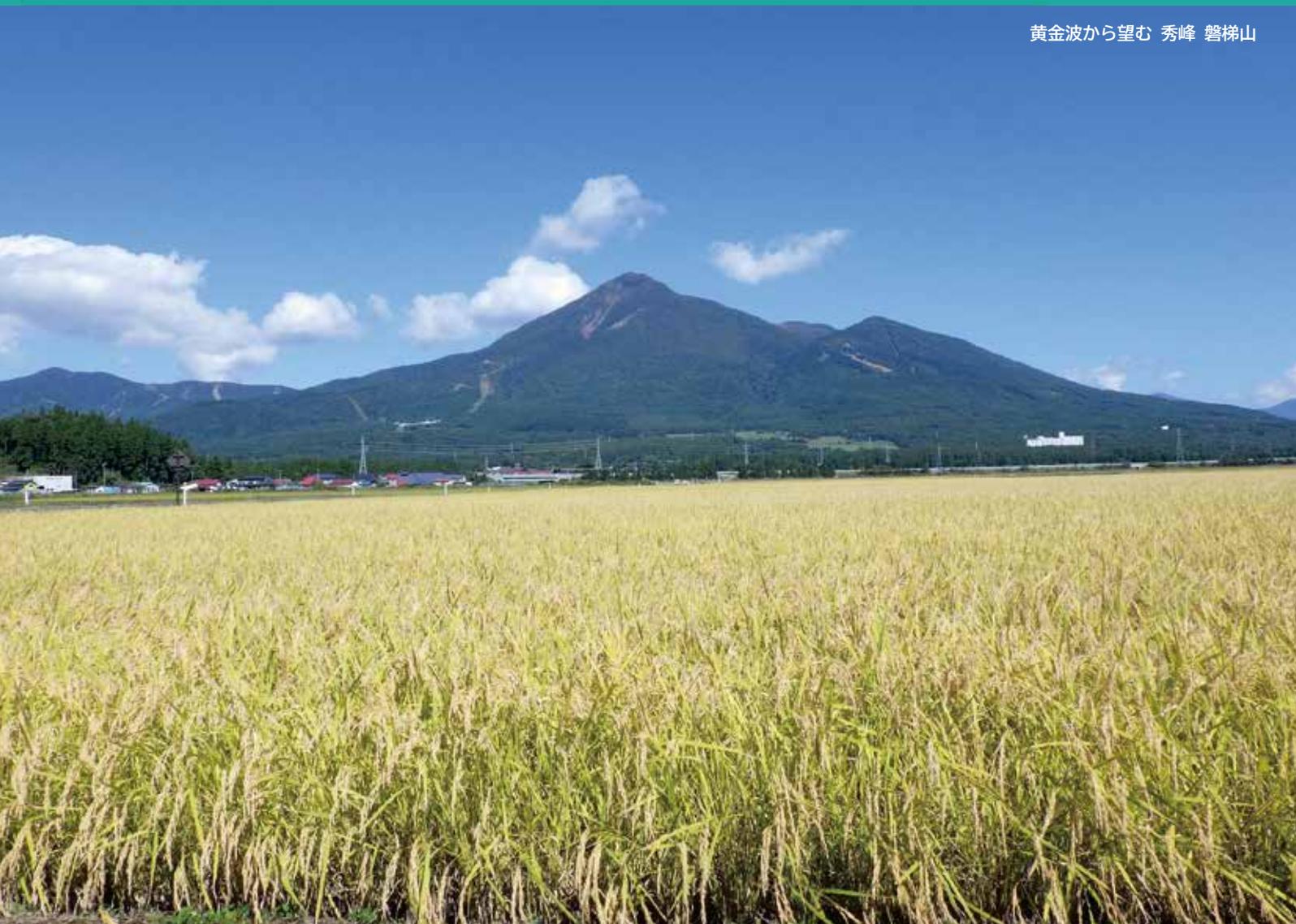


猪苗代町 第2号 農業委員会だより



猪苗代町農業委員会事務局
電話 0242-62-5655

黄金波から望む 秀峰 磐梯山



ごあいさつ



猪苗代町農業委員会
会長 安達壽人

日頃より当農業委員会の活動に格別なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年6月20日より猪苗代町農業委員会の会長を務めさせていただく事となりました。

昨今の米価格の高騰により、農政の更なる変化が予測されます。米の価格は上がっても、農業機械や燃料、肥料価格も高騰しており、農業経営は厳しいままとなっております。国は米の増産化の方針を打ち出していますが、首相の交代で農業施策の大幅な転換も考えられます。集積・集約や遊休農地の発生防止等の農業委員会の取り組みがより一層求められるものと思われれます。農家の高齢化による担い手不足が懸念される中、農地利用の最適化を実現させるべく、全農業委員及び農地利用最適化推進委員で取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願い致します。

また、農地の賃貸や売買等についてはあつせん等も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

農業委員・推進委員トピックス

秋雨との闘いの中で、今年も稲の刈り取りも終わりを迎えました。猪苗代町の耕地面積は約3,200ha、農家の数は850戸余り、農業者数は820名余り、その内女性は330名で40代以下は80名程です。およそ440名の方が50代以上というのが現状です。福島県全体でもこれから10年後は、48%の農家で後継者がいないという数字が出ています。



守るべき猪苗代町の美田

猪苗代町のこの美田を維持していくために担い手不足と高齢化等による耕作放棄地が増えている現状の中で、集落営農の取り組みや農業委員及び農地利用最適化推進委員によるあっせん活動、中間管理事業活用の取り組みを担い手の意向を踏まえたなかで積極的に取り組んでいく必要があると思われまます。

農業委員 丸山 之子（長瀬地区担当）

福島県内の大部分の市町村には棚田（傾斜地に階段状に設けられた田）があり、法令上の棚田地域（※）の要件を満たしうる地域が数多く存在しています。

※棚田地域とは：昭和25年2月1日における市町村（俗に言う旧旧市町村）の区域であって、区域内の勾配が20分の1以上の土地にある一団の棚田の面積が1ha以上ある地域。

猪苗代町にも棚田地域があり、猪苗代地区・長瀬地区が該当しております。

そこで、皆様に町内の棚田を知っていただくため、実際に渋谷地区の棚田の景観状況をご紹介します。

（実際に訪れてお確かめいただくことをお勧めします。訪問の際には、交通ルールを守り、地元の方々へのマナーにご配慮ください。）

眺望場所は、県道2号米沢猪苗代線沿いで、旧国際スキー場入口の東側、渋谷集落の南側入口です。



上空から望む渋谷地区の棚田



眺望場所にある案内板

農地利用最適化推進委員 氏田 泰昭（猪苗代地区担当）

現在、高齢化による離農が進む中、農地の集約が進められています。

しかし根本的に農に携わる人を増やさないと、長い目で見て農地を守ることは難しいのではないかとこの気持ちが拭えません。

そこで私たちは新規就農の一手手前、みんなで育ててみんなで学ぶコミュニティ農園「むむむCLUB」を主催しています。田んぼや畑でゼロから育て胃袋まで納める経験を積み重ねます。



むむむCLUBの仲間たち



子ども達と稲の天日干し

家族で体験を楽しむ方、自給を目指す方、就農を目指す方、生きる力を身につけたい方、様々な方が参加されていますが、将来、少しの面積でも土を耕し、種を蒔き、地域の農地を守る一端を担ってもらえる存在になってもらえればと願っています。

農地利用最適化推進委員 岸本 恵里子（翁島地区担当）

私は約60町部の稲作を営む会社の一員として働く一方、農協青年連合の一員としても活動しています。農青年メンバーと盟友の皆さんと共に主に米について毎年生育調査などを行い、猪苗代の米がより良くなるよう勉強したりしています。



9~10月はフル稼働する会社の乾燥・穀すり施設

最近のお米の値段にはびっくりすることもあります。それまでのお米の値段は安いと感じる農家さんも多いと思います。その反動が今の高値につながっていると思います。毎年、秋になるまで値段がわからない中で、春から田植え、夏の炎天下の中での草刈り、秋の収穫まで一生懸命に働く猪苗代の農家さんのお米をもっともっと皆さんに知ってもらいたいと思います。農業委員としても耕作放棄地の再利用にも力を入れていきたいと思っています。

猪苗代のお米はおいしいぞー！！

農業委員 浦 大輔（吾妻地区担当）

令和7年農地賃借料情報（令和6年8月～令和7年7月）

平成21年12月15日施行の農地法改正に伴い、これまでの標準小作料制度が廃止されました。これに替わるものとして、賃借料情報（農地の賃借の実勢価格）を参考として提供するものです。

なお、この情報はあくまで参考情報ですので、賃借料については、米価、生産費、水利費の負担、土質や形状等を考慮し、貸し手・借り手の話し合いにより決定してください。

1. 田の部

（10a 当り）

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
平坦部第1地域	12,900	20,000	5,000	744
平坦部第2地域	12,600	17,000	5,000	375
平坦部第3地域	9,700	15,543	10,000	51
山間部地域	9,700	10,000	5,000	127
猪苗代町平均	12,400			1,297

2. 畑の部

（10a 当り）

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
平坦部第1地域	1,500	2,777	1,000	17
平坦部第2地域	1,400	2,777	1,000	5
平坦部第3地域	1,500	1,500	1,500	1
山間部地域	1,500	1,500	1,500	4
猪苗代町平均	1,400			27

- 「データ数」は、集計に用いた筆数です。
- 「平均額」は、算出した額を四捨五入し、百円単位で表示しています。
- 算出の際、田においては30,000円以上及び5,000円未満を、畑においては4,000円以上及び1,000円未満をそれぞれ集計から除外しております。
- 「猪苗代町平均」の額は、各区分の平均値をデータ数により加重平均した値です。
- 地図により確認したい場合は、右の二次元コードを読み込み、「猪苗代べんりマップ」の「農地賃借料マップ」によりご確認ください。
- ご不明な点は、農業委員会事務局（62-5655）若しくは地区担当の農業委員か、農地利用最適化推進委員にお尋ねください。



◆ 委員活動報告 ◆

農業委員・農地利用最適化推進委員研修会



8月28日に喜多方プラザで開催された標記研修会に、農業委員1名、農地利用最適化推進委員3名で参加しました。

「農業・農政をめぐる情勢と農業委員組織の活動について」の講義で地域計画の現状や農地法の改正等について学んだ後、

「地域の強みや魅力をあらためて引き出そう」というワークショップを行いました。旅行会社の社員になった想定で、会津の魅力を伝えるプランを作成するというものでした。出されたアピールポイントは鶴ヶ城や磐梯山、猪苗代湖等の自然の景色等が多く、地域の魅力に我々農家が丹精込めて作った農作物が入ってこない事に少し寂しさを感じました。猪苗代の米をはじめとした様々な農作物をもっと知ってもらえるように、品質の向上や、全国への積極的な周知を行っていかねばならないと感じた研修会でした。

(鈴木範政農業委員)

農地パトロール



8月25日～27日の3日間、猪苗代町内全域を対象に農地パトロールを行い、遊休農地や荒廃農地、違反転用農地、農地への不法投棄等を調査しました。今回の調査で荒廃農地と判断した田31筆約38,000㎡、畑26筆約10,000㎡は、9月19日に開催された農業委員会総会にて非農地と決定されました。荒廃農地は主に山間部で、鳥獣被害により耕作を断念したという案件が多いようです。また、農地法の許可なく農地に建造物を設置されていたものが1件あり、その場で農地所有者に是正をお願いしました。農地パトロールは年間2回行っており、次回は11月下旬に行う予定ですので、ご協力をお願いいたします。

◆ ご案内 ◆

農業者年金のご案内

年間60日以上農業に従事する方で、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方、又は60歳以上65歳未満の国民年金任意加入被保険者の方であれば加入できます。保険料は月額2万円（ただし35歳未満かつ政策支援加入の対象とならない方は月額1万円）から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められ、状況に応じていつでも見直すことができます。申し込みは、農業委員会事務局若しくはJAにてお願いいたします。詳しくは、右の二次元コードから「独立行政法人 農業者年金基金」のホームページにてご確認ください。



全国農業新聞を購読してみませんか



全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する農業専門誌です。週刊で購読料は月額700円（送料、税込み）です。県版・地方版も充実させ、地域独自の情報の提供に努められています。購読のお申し込みは、農業委員会事務局にてお願いいたします。